

四苦を癒す

魂のアート、音楽

在宅ホスピスのパイオニア

川越厚医師特別講演会

胎内で胎児が最初に耳にするのは、母親の子宮動脈の拍動音。

いのちが消え去る時も聴力は最後まで残っており、音は人の一生から切り離すことはできません。

苦しみにあっても、耳は安らぎのメロディーを求めます。…間もなく死を迎える患者と看取る者とが共有する“癒しのアート”。それが音楽なのです。

(CDブックレットより)

医師になって51年。産婦人科医として1500を超える出産に立ち会い、在宅ホスピス医として2500を超えるがん患者を自宅で看取った医師が、人の誕生から死に至るまで、音楽が果たす“魂のアート”としての働きを振り返る。

日時 2024年7月18日(木) 13:30~15:00
(開場13:00)

会場 三分一湧水館 3F展望ホール 北杜市長坂町小荒間292-1

定員 80名(要申し込み・先着順) 参加費 300円

会員の方 行事申込ホームページより又はFAXにてお申込下さい
(6月10日受付開始)

会員以外の方 氏名(複数可)、連絡先を記入の上
メール又はFAXにて下記へお申込みください
Mail: kazuren.kakureya@gmail.com
Fax: 050-3737-1293

主催 ハヶ岳ふるさと倶楽部 担当: 徳山和蓮、関克己